

古民家の野外博物館

# 日本民家園だより

昭和61年度第4号

《通号第7号》

発行 62・3・1

川崎市立日本民家園

川崎市多摩区枳形 7-1-1

電話 044) 922-2180~1

## 新旧二つの技法をもつ開放的な旧北村家住宅

- ・旧北村家住宅
- ・国指定重要文化財
- ・寄棟造り茅葺き
- ・平面積 134.38㎡  
(40.6坪)
- ・旧所在地 神奈川県秦野市  
堀山下 1243
- ・昭和41年6月 北村一平氏  
より川崎市に寄贈
- ・昭和41年12月 重要文化財  
に指定
- ・昭和42年6月 解体・復原  
に着手
- ・昭和43年3月 復原完了



旧北村家住宅

### ◆相模の典型的な上層農家

この家は、北村一平氏の住宅で、貞享4年(1687年)に建てられたものです。

北村家は、神奈川県じょうきやうの丹沢山の登り口に当る秦野市堀山下にあり、初代は旧名主の家柄から分家したと伝えられています。

家の中央部が、表から裏まで通してひろまと呼ぶ居間で占められている「ひろま型」といわれる間取りの住宅です。

古い特徴としては、まず柱が1間ごとに立っていて、特に土間とひろまの境の柱は、手斧削

りにして仕上げた跡がはっきりと認められ古い家という感を強く与えます。しかし、一方でこの家は開放的で室内を明るくするように工夫され、進んだ手法を多く用いています。

### ◆みどころ

- ・ひろまの竹簧の子の床
- ・しし窓
- ・土間とひろま境の手斧削りの柱
- ・おくの帳台構ちょうだいかまえ
- ・押板
- ・ひさしを利用した縁側、床の間、押入れ

# (園の動き)

## ◆第16回親と子の手づくり教室<1/11>

＝マユダンゴ作り＝

小正月に飾るマユダンゴを親と子で作って  
みました。参加者 17名

## ◆第4回日本民家園協議会 <1/22>

本館建設のための基本構想を10名の委員に  
検討していただき、よりよい博物館活動の  
あり方を協議していただきました。

## ◆第33回文化財防火デー訓練 <1/24>

全国にわたる恒例的な消防訓練として、旧  
井岡家付近から山火事が起きたという想定  
で、多摩消防署立会いにより実施した。

### ◀ 年中行事展示など ▶

- ◆神棚かざり <1月中> シメナワ飾りなど
- ◆小正月行事 <1月中> マユダマ・アボ・ヘボなど
- ◆節分 <2月中> イワシの頭とヒイラギなどを飾る
- ◆八日僧 <2月中> 魔除け 目籠を高くかける  
(ヨウカゾ)



麻生区岡上の東光院から移された覆堂（さやどう）  
この中に宮殿がまつられています。文久3（1863）  
年に造られた事が、背部の棟札でわかりました。

宮殿の側面の金色姫物語（右頁）を彫刻にした  
お宮は、あまりほかに例がないようです。



<粉をねってから、ダンゴを枝にさすんだね  
粉をねるのって、むずかしいね>

### 《 今後の行事 》

- ◆民具づくり教室<3/1> 紙すき（手製和紙）  
旧山田家（合掌造りの家）にて 一事前申込制—
- ◆文化財映画会<3/8> 10時半と1時半  
白川郷の家（旧山下家学習室） 参加自由
- ◆親と子の手づくり教室<3/15>  
草ダンゴ作りに挑戦します。 一事前申込制—
- ◆ひなまつり<3月中> ひな人形飾り
- ◆蚤影山まつり<3/21~22>

かいこの神様のおまつりのため飾りつけします。

何気なく、見すごしてしまいそうなお堂を、今度  
は、違った角度で見学されてはいかがでしょうか。

△ 宮殿の彫刻イラスト ↓



[1] 獅子の吠える山



[2] 鷹の群がる山

# 安藤為次教育記念財団 奨励賞を受賞して

民具製作技術保存会（民技会）  
会長 横山 真一

去る昭和61年12月13日（土）、横浜市の神奈川県民ホールにおいて、私たち「民具製作技術保存会」（当園で活動する自主グループ）は、安藤為次教育記念財団・奨励賞を贈られました。

この日、会場には県下の18高校と9つの教育文化団体が集い、主催者・来賓など関係者多数が出席して表彰式が行われ、教育文化団体としては、川崎市の「第1号」の受賞となりました。

この賞は、県民の教育や文化に関するさまざまな活動に対して贈られるもので、長く本県の学校教育の第一線で活躍された故安藤為次氏の私財を基金に、57年度から贈呈されており、本年度で第5回となります。

「民技会」（略称）も、計画的活動と地域文化への寄与・継続的かつ将来への発展性が認められ、今回の受賞となりました。

当民技会は、昭和48年以来日本民家園と一体となった「動く博物館」への会員の方々の伝統的民具の製作技術研究など熱意ある行動の積み重ねに対して、表彰されたものと思います。今後も私たちは会員は、この受賞を契機にして、更に活動の幅を広め、会の充実をめざして頑張りたいと思います。末尾になりましたが、関係各位の厚い御援助を深く感謝いたします。



## 展示のご案内

養蚕の神さま 「蚕影山のお祭り」

3月21日（土）～ 22日（日）

園内16番目に蚕影山祠堂というのがありますが、これは民家園唯一の信仰関係の建物で、特に養蚕農家が蚕の良好な生育とマユの豊かな収穫を祈願したお堂です。このお堂は、川崎市内の岡上にあつたもので、毎年3月26日の蚕のお祭りには、お堂の前に大きな幟のぼを立て、灯籠を吊り、神前に各種の供え物をしたり、また養蚕農家がお参りする時に供えるマユダンゴや、マユを糸で吊ったものなど



(3) くり舟で離れ小島へ



(4) 庭に生き埋め

も再現し展示しております。この様にこれからできるものがより良い収穫が得られるように祈願することを「予祝行事」と呼んでいます。お堂の中にある宮殿の側面には見事な彫刻があります。これらは蚕の由来を物語にした四つの場面です。向って左上から始めて右下、右上、左下の順にご覧ください。昔天竺（印度）の王様の娘金色姫は継母に虐待され四回も苦難に遇いました。(1)獅子の吠える山に捨てられた。(2)鷹の群がる山に置き去りにされた。

(3) 離れ小島に流され漁師の舟に助けられた。(4) 最後はお城の庭に生き埋めにされましたがそのつど助けられました。王様は姫に佛教の国へ行って諸々の人を救うようと、舟に乗せたところ日本の常陸国（茨城県）に流れつき、養蚕を広め人々は大変豊かになったということです。＜左側と前頁のイラストをごらんください。＞

# 花だより

春！心はずむ春です。木の芽どきから花開く季節を迎え、自然美豊かな生田緑地も、それぞれの木々の独自の緑色が



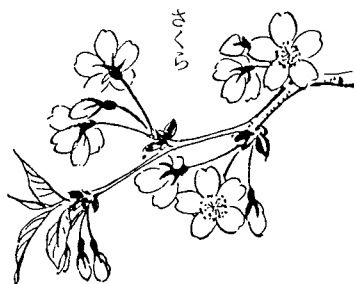
あやなし、見る人の目を喜ばせてくれます。古民家のかた隅に、存在を主張するかのように咲く花々！ひっそりと足元に咲く草花！園には、豪華な花園はありませんが、四季折々の花が庭先・園路わきに植えられております。古民家見学の道すがら、お楽しみいただければ幸いです。

## 3・4月

- ・花モモ ・山ザクラ ・コブシ
- ・乙女ツバキ ・モクレン
- ・レンギョウ ・チンチョウゲ
- ・キブシ ・アンズ ・カリン
- ・ヒメリンゴ ・ヤマグミ
- ・ナシ

## 5・6月

- ・サツキ
- ・クチナシ
- ・アジサイ
- ・タイサンボク ・ヤブテマリ
- ・ショウブ ・フジ

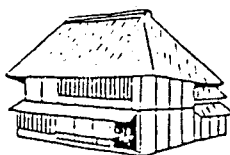


## 7・8月

- ・クチナシ
- ・サルスベリ
- ・ネムノキ
- ・山ユリ

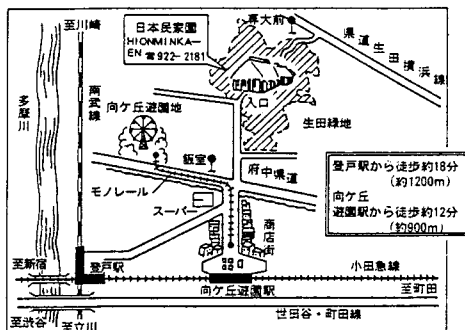
## 6月中旬

民家園入口脇の「菖蒲園」も有名



旧鈴木家  
福島県

## 日本民家園案内図



- ・小田急線「向ヶ丘遊園駅」南口から徒歩12分(900メートル)
- ・南武線「溝ノ口駅」から市バス登戸行・向ヶ丘遊園駅東口行
- ・田園都市線「梶ヶ谷駅」から向ヶ丘遊園駅行「飯室」下車、徒歩8分

## 編集後記

日本民家園だより<第7号>を昭和61年度のしめくり号としてお届けします。春の行楽に向けて、今号は花だよりを紹介させていただきました。生田緑地周辺は自然が多く、休日の憩いの場として皆様に喜ばれております。ぜひ、一度ご家族づれでご来園ください。園も野外博物館として、今後さらに充実をはかり、楽しい「場」をつくるように努力して参りたいと思います。